

2022 年度 小委員会活動成果報告

(2023 年 1 月 15 日作成)

小委員会名	RC 規準改定小委員会	主 査 名：西村康志郎 就任年月：2021 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鉄筋コンクリート構造運営委員会)	委員長名：五十田 博 (主 査 名：楠 浩一)
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説」(以下、RC 規準)を改定する。2018 年版の鉄筋コンクリート構造計算規準に対する質問や意見を聴取し、それに回答する。</p> <p>初年度：2018 年の改定で積み残した課題や Q&A での要望などを精査し、改定方針を決め、改定案の原稿を作成する。他の指針規準との整合も確認する。</p> <p>2 年度：シンポジウムか大会 PD を開催し、意見や要望を反映させ、改定原稿を完成させる。次回改定の部分と次々回改定の部分を整理する。</p> <p>3 年度：運営委員会での査読と対応、構造委員会での査読と対応を行う。</p> <p>4 年度：構造委員会査読を終了して刊行を行い、講習会を開催する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	<p>主査：西村康志郎 (東京工業大学)</p> <p>幹事：壁谷澤寿一 (首都大学東京)、花井伸明 (九州産業大学)</p> <p>委員：飯塚正義 (プレハブ建築協会)、市之瀬敏勝 (名古屋工業大学)、岩田樹美 (NTT ファシリティアーズ)、上田博之 (竹中工務店)、大西直毅 (東京大学)、小野里憲一 (工学院大学)、楠 浩一 (東京大学地震研究所)、楠原文雄 (名古屋工業大学)、黒瀬行信 (日本建築総合試験所)、河野 進 (東京工業大学)、真田靖士 (大阪大学)、向井智久 (建築研究所)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>扁平梁スラブの構造設計法検討 WG：</p> <p>RC 規準改定小委員会では、『鉄筋コンクリート構造計算規準』の改定を目的として、現時点で各種の調査、分析および技術のとりまとめを行うこととしている。当該 WG では、改定される規準における扁平梁スラブの構造設計法を検討する。</p>	
2022 年度予算	410,000 円	ホームページ公開の有無：有 (RC 規準 Q&A サイト) 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s48/

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. RC 規準の次回改定方針に関するシンポジウム 参加者数 83 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. RC 規準に対する質問や意見を Web 上で募った。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 2018 年の改定で積み残した課題や Q&A での要望などを精査し、改定案の原稿の小委員会内査読を開始した。</p> <p>2. 改定方針に関するシンポジウムを開催し、広く意見を募った。</p> <p>3. 現行の RC 規準への質問や意見に対して、回答と正誤表を Q&A サイトに公開した。</p>
委員会活動の問題点・課題	<p>1. 次回改定原稿の査読過程で、新たな課題が見つかる可能性がある。</p> <p>2. 今後もさらに多様な意見が寄せられる可能性がある。</p>